

競技規則 日本語:

## サイクルフィギュア競技規制：

競技用自転車はアスリートの身長に合わせ、さまざまなサイズのものが使用されます。サドルとハンドルは特殊な形状をしており、選手はその上に立つことができます。同じ目的でハブにもピンとよばれる突起物があります。約 1:1 の固定ギアにより、自転車は前進と後退の両方できるようになっています。タイヤはトレッドがほとんどなく、約 10~12 パールが適正圧になっています。室内自転車競技は 11×14m の長方形のコートを持つ体育館で行われます。このコートには中央に 8m、4m、0.5m の円がマークされています。サイクルフィギュアの技には様々な種類があり、これらはカタログ、いわゆる競技規制に詳細に記載されており、難易度に応じて一定のポイントが与えられます。技の内容が難しいほど、より多くのポイントが与えられます。競技会で選手は実演する技の順序を記載したプログラムを持参します。技の個々の難易度ポイントの合計が申請点になります。プログラムは、学童向けは最大 25、ジュニアおよびエリート選手向けは最大 30 の技で構成されています。プログラムは 5 分以内に審判団に提示されなければならず、プログラム使用曲と一緒に提出することができます。4~6 人の審判と審判長（チーフ）で構成される審判団は、技の順序や完成度の観点からひとつひとつの技を評価します。技の完成度が低かった場合や落車などが発生した場合、その内容により減点数が決められており、申請点から引かれます。これにより競技結果、最終的な得点が決まります。得点が最も多かった選手が勝者となります。サイクルフィギュアは種目別となっており、男子シングル、女子シングル、女子ペア、混合ペアがあります。年齢別では U11、U13、U15、ジュニア（U18）、エリート（18 歳以上）に分かれています。年齢別のカタログがあります。詳細は UCI の国際競技規則に記載されています。

競技規則全文:

[https://www.kunstradreglement.com/images/PDF/datenfiles\\_kufa/2020/8-INA-2020\\_DE-2020-01-01.pdf](https://www.kunstradreglement.com/images/PDF/datenfiles_kufa/2020/8-INA-2020_DE-2020-01-01.pdf)

